

平成29年産 ビール大麦 栽培ごよみ

〈選ばれる「京築の麦づくり」運動〉

- ・需要に応じた品種の作付
- ・品質向上と収量安定
- ・土壌改良材施用による土づくり

〈土壌改良材の施用〉

酸性障害防止のため、土壌改良材を散布しましょう。
(生育不良田は、必ず土壌改良材を散布して下さい)
消石灰(100kg/10a), ミネラルG(160kg/10a), 細粒苦土石灰(200kg/10a)

〈品種特性表〉

麦種	品種	出穂期	成熟期	倒伏	栽培上の留意点
ビール大麦	はるみやび	4.6	5.20	やや強	早播きは避ける
	しゅんれい	4.8	5.20	やや強	皮が薄いので、早刈りを避ける

〈基本技術の励行〉

- ・排水対策の徹底
- ・土入れ・麦踏みの実施
- ・赤かび病防除の実施(必須)
- ・適期刈り取りの遵守

〈播種準備〉

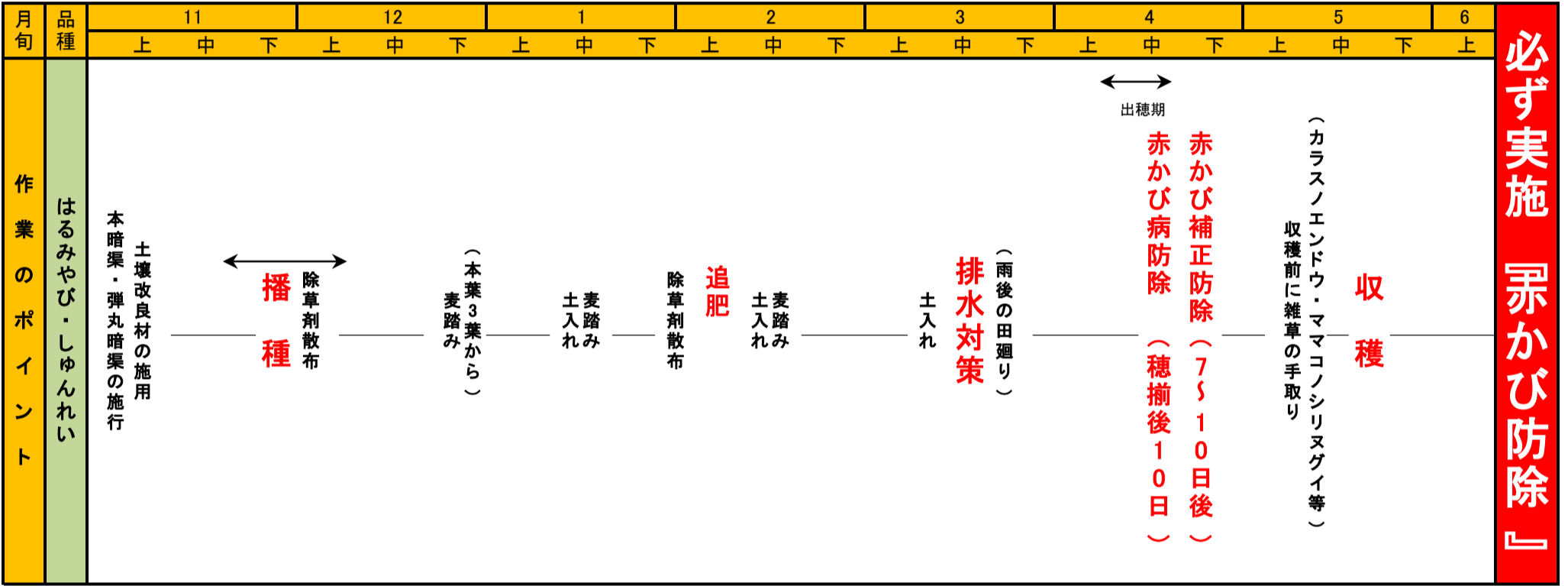
- ・種子更新率100%
- ・種子消毒: 種子1kgに対し、トリフミン水和剤を5g粉衣

〈播種適期〉

品種	地帯	播種適期	播種量	遅播き	播種量
はるみやび	平坦地	11.20~12.10	7 kg	~12.25	9~10 kg
	山麓地	11.15~12.5		~12.20	
しゅんれい	平坦地	11.15~12.5	7 kg	~12.25	9~10 kg
	山麓地	11.10~11.30		~12.15	

※早播きは、凍霜害をうけ減収したり、品質が悪くなったりするので避ける

福岡京築農業協同組合
京築普及指導センター



〈除草剤〉

耕起前	液剤	除草剤名	処理時期	使用量 10aあたり	散布水量
		ラウンドアップ マックスロード	耕起前 播種後出芽前	200~500ml	50~100ℓ
播種時・ 雑草出芽期	粒剤	リベレーターG	播種後~麦2葉期まで	4~5kg	—
		サターンバアロ粒剤	播種後~麦4葉期まで (雑草発生前~雑草発生始期)	3~5kg	—
	キックボクサー細粒剤F	播種後雑草発生前	3~4kg	—	
	液剤	リベレーターフロアブル	播種後~麦3葉期まで	60~80ml	100ℓ
サターンバアロ乳剤 (砂壌土除く)		播種直後~麦出芽前	500~750ml	70~100ℓ	
生育期	液剤	ボクサー	播種後~麦2葉期まで (小麦は播種後~麦4葉期まで)	400~500ml	70~100ℓ
		アクチノール乳剤	穂ばらみ期まで (広葉雑草生育初期)	100~200ml	70~100ℓ
		ハーモニー75DF 水和剤	麦1葉期~節間伸長前 スズメノテッポウ5葉期まで カズノコグサ1~3葉期まで	5~10g 10g	100ℓ

※覆土が薄い場合や土塊が大きい場合は、薬害がやすいので土塊を細かくする
※土が乾燥している時には水量を多くするほど効果が高い

◎ハーモニー75DF水和剤使用時の注意事項

- ・周辺に野菜がある場合は飛散により薬害を生じるので使用しない
 - ・散布器具(動噴・ホース・タンク)は使用后、乾かないうちに添付の石灰を使って充分洗浄する
 - ・ハーモニー75DF水和剤を使用したホースは野菜では使用しない
- 抵抗性雑草対策のため、播種後土壌処理材との体系処理で使用する

〈施肥基準〉

品種	(10aあたり)	
	基肥 ベスト化成444	追肥 BB606号 追肥化成34号
はるみやび	40 kg	2月上旬 15~20 kg (中山間地10 kg)
しゅんれい	40 kg	2月上旬 15~20 kg (中山間地10 kg)

※大豆跡では基肥を50~100%、追肥を0~50%減肥する

〈赤かび病防除〉

大麦の防除適期 1回目 穂揃期の約10日後(出穂期後12~14日頃)

※大麦は降雨の多い年は2回防除して下さい
※2回目の防除は1回目の防除の7~10日後

	(10aあたり)		
	使用量 希釈倍率	散布水量	備考
ワークアップ粉剤DL	3kg	—	収穫7日前まで 3回以内
トップジンM粉剤DL	4kg	—	収穫14日前まで 小麦2回・大麦1回以内
ワークアップフロアブル	2,000倍	60~150ℓ	収穫7日前まで 3回以内
シルバキュアフロアブル	2,000倍	60~150ℓ	小麦 収穫7日前まで 大麦 収穫14日前まで 各2回以内

〈収穫時の留意点〉

早刈りを避け、適期刈り取りの励行

農薬散布時には使用基準を遵守し、
周辺作物への飛散に注意しましょう!

(H28. 8作成)

収量・品質アップの3つのポイント!

土壌改良材散布!

排水対策! 雑草対策!

基本的な管理を徹底しましょう!